

Oguchi おおぐち社協だより

Shakyo

第123号

2023

7

月号

年4回発行
(4月・7月・10月・1月)

地域ふれあいサロン連絡会

(令和5年4月13日 健康文化センター多目的室)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

大口社協は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



「うちのサロン自慢」
社協窓口前に展示中!



CONTENTS

- ② ★令和5年度事業計画
- ④ ★令和5年度予算のあらまし ★令和5年度会員募集
★評議員・理事・監事のご紹介
- ⑥ ★町内福祉関係団体のご紹介
- ⑦ ★ふれあいサロン通信 ★地域ふれあいサロン連絡会
- ⑧ ★地域共生社会の実現へ 福祉実践教室
- ⑨ ★ちょっと、いいこと。
- ⑩ ★ぎゅっと オークマ温水プール
- ⑪ ★介護豆知識 お口の体操
- ⑫ ★ボランティア情報局 夏休みボランティア出前講座
- ⑭ ★災害時炊き出し訓練 ★赤ちゃん訪問
★子育てサロンまむ*まむ セタイイベントのお知らせ
- ⑮ ★心配ごと相談所開設日程 ★善意だより
- ⑯ ★町内福祉施設見学バスツアー 参加者募集
★ボランティア養成講座 マジック入門 参加者募集

社会福祉法人

大口町社会福祉協議会

事務局

月~金(土日祝・年末年始休) 8:30~17:15
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階

ホームページ

<http://www.oguchi-shakyo.or.jp>

Eメール

chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



令和5年度事業計画

～人をつなぎ、孤立を防ぐ地域福祉活動～



基本方針

経済格差や物価上昇などに伴う貧困問題の深刻化、地域社会の絆の希薄化など、経済・社会情勢の変化に伴い福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、そこに新型コロナウイルス感染症が社会に与える影響も加わり、福祉における課題は一層複雑であり多様化しています。

「超少子高齢・人口減少社会」「人生100年時代」といわれ、誰もが生涯を通して「安心・安全そして心豊かに暮らせる社会」が実感できることを目指し、人と社会がつながることによって、その役割や助け合いを生み出し、今の時代あるいはこれから先の「地域共生社会」が実現できるよう、各種地域福祉事業の推進に努めます。

また、昨年度に引き続き、相談支援や参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重

層的な支援体制の整備に向けて、愛知県が行うセミナー、情報交換会に積極的に参加する中で、民生委員児童委員、ボランティアをはじめとする福祉関係者や地域住民、NPO団体、企業、行政関係機関等のみなさまとの意見交換を行い、包括的な支援体制の充実に努めます。

近年起こりうる災害に備え、災害ボランティアセンターの人材育成や講座等の計画はもとより、災害用備品の整備を行いながら迅速に対応できる体制を整えていきます。

さらに、法人運営の基盤強化と、地域福祉部門と在宅福祉部門が一体的な支援体制を維持できるよう組織体制を検討する中で、ワンチームで地域福祉推進に取り組みます。

重点取組5つの柱

ワンチームの地域福祉推進

法人運営の基盤強化

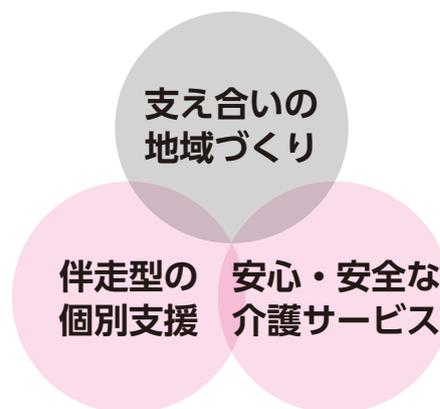
「支え合いの地域づくり」の推進

「伴走型の個別支援」の充実

平常時の災害への備え

安心・安全な介護サービスの提供

社協の特色



大口社協は、「支え合いの地域づくり」と、福祉専門職による「伴走型の個別支援」、ヘルパー・デイサービス等の在宅介護サービスをひとつの法人の中で一体的に取り組むことができるところが大きな特色です。

「支え合いの地域づくり」の推進

『大口町総合計画』において、地域福祉は健康で安心な暮らしの基本施策のひとつとして位置づけられており、福祉教育の充実、社会福祉協議会の強化、担い手の発掘・育成、ふれあいサロン等の小地域福祉活動の促進、地域住民による見守りや生活を支える活動の推進等があげられています。

地域住民やボランティア、民生委員児童委員等のみなさまの参加を得ながら、「支え合いの地域づくり」に向け、それぞれの地区の地域性に合わせて取り組みを推進します。



平常時の災害への備え

近年、地震だけでなく身近な台風、豪雨等による災害が相次いでおり、各地の市町村社協が災害ボランティアセンターを開設し、災害時のボランティア活動をコーディネートしています。

ボランティアや行政と連携して災害ボランティアセンター設置運営訓練と人材育成に努め、災害用備品の整備等の備えを進めます。



「伴走型の個別支援」の充実

さまざまな生活課題や日常生活の困りごとを抱えるすべての世帯を対象として、専門職が幅広く相談を受け、必要に応じ食料支援や資金貸付、福祉サービス利用援助、金銭管理、介護サービス、就労支援等、多様な課題解決策を用いて支援します。

また、世帯の当事者が人とつながり、地域社会に参加しながら生活することができるよう、制度外の福祉ニーズにも対応した柔軟な支援を行います。

安心・安全な介護サービスの提供

ご利用者様の健康と命の安全を守り、暮らしを支える介護専門職として、制度の狭間で困難な生活課題を抱える人も含め、安心して利用できるサービスの提供とその質の向上に努めます。

あわせて、地域への介護情報の発信や介護予防体操などの出前等、介護予防普及啓発事業を推進します。



法人運営の基盤強化

評議員会・理事会を中心とした社協組織全体でのチェック体制に努め、財務状況や事業内容の積極的な公表等とあわせて、事業運営の透明性の確保を推進します。

また、社協会員の拡大により地域福祉事業の自主財源確保に努めるとともに、職員の人材確保と資質向上、地域福祉の専門職であるコミュニティソーシャルワーカーの職員配置を推進し、法人運営及び事業実施の体制整備に努めます。

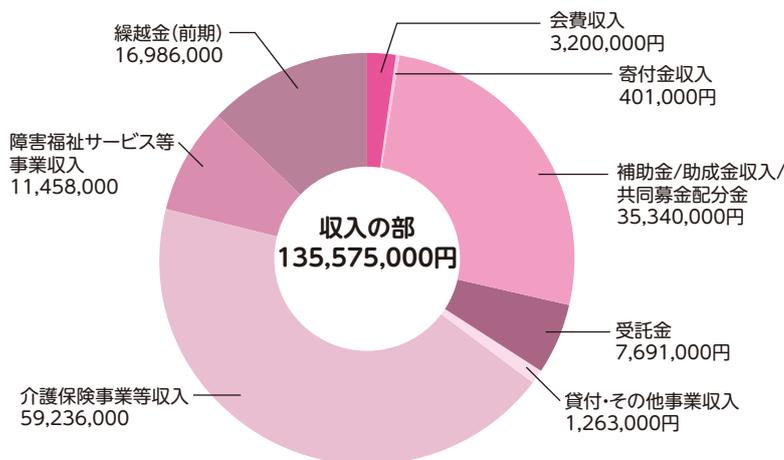
令和5年度

大口町社会福祉協議会 予算のあらまし

予算総額 135,575,000円

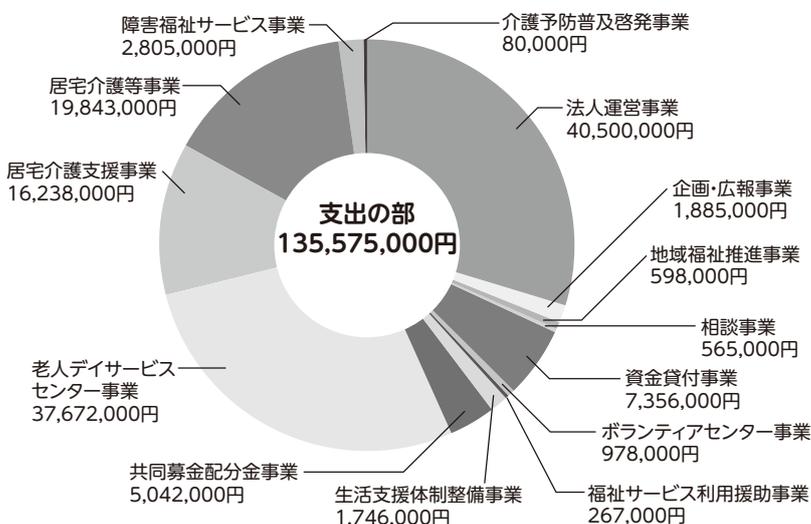
●収入の部

項目	金額(単位:円)
会費収入	3,200,000
寄付金収入	401,000
補助金/助成金収入/共同募金配分金	35,340,000
受託金	7,691,000
貸付・その他事業収入	1,263,000
介護保険事業等収入	59,236,000
障害福祉サービス等事業収入	11,458,000
繰越金(前期)	16,986,000
収入合計	135,575,000



●支出の部

項目	金額(単位:円)
法人運営事業	40,500,000
企画・広報事業	1,885,000
地域福祉推進事業	598,000
相談事業	565,000
資金貸付事業	7,356,000
ボランティアセンター事業	978,000
福祉サービス利用援助事業	267,000
生活支援体制整備事業	1,746,000
共同募金配分金事業	5,042,000
老人デイサービスセンター事業	37,672,000
居宅介護支援事業	16,238,000
居宅介護等事業	19,843,000
障害福祉サービス事業	2,805,000
介護予防普及啓発事業	80,000
支出合計	135,575,000



令和5年度 大口町社会福祉協議会会員募集

社会福祉協議会(社協)会員にご加入をお願い申し上げます

日頃は、本会諸事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
社会福祉協議会(以下、社協)では、7月から9月までの期間、町内世帯の皆様には各区の区長さんを通じて、企業・法人様には社協より直接加入のお願いしてまいります。

人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもち、助け合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会」。この実現の一助となれますよう、地域福祉活動を進める本会の事業趣旨にご理解を賜り、会員にご加入いただきますよう何卒お願い申し上げます。

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会 会長 安藤 巖

●令和4年度 社協会員加入実績(令和5年3月末時点)

会員種別	会費(年額・一口)	加入数	会費額計
一般会員	500円	4,661件	2,414,000円
賛助会員	1,000円		
法人会員	3,000円	104件	678,400円
合計			3,092,400円

社協会員とは?

社協会員とは、社協の地域福祉活動や理念に賛同し、資金面から支えていただく町民・企業・法人の皆様です。

社協は、貴重な自主財源として会費を活用させていただき、大口町の高齢者や障がい者、児童、ひとり親家庭、生活困窮者の方などを含め、誰もが人と関わり助け合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会」を目指して、人をつなぎ孤立を防ぐ地域福祉活動を進めます。

社協会員年間会費

一般会員 一口 500円
賛助会員 一口 1,000円
法人会員 一口 3,000円

大口町社会福祉協議会 理事・監事・評議員のご紹介

大口社協は、地域のみなさまの幅広い意見を取り入れながら公共性・透明性の高い事業を実施するため、住民代表や団体代表等の方々の参加により、評議員会・理事会を組織しています。

以下のとおり、理事・監事・評議員をご紹介します。(令和5年6月末現在 順不同、敬称略)

理事・監事の任期満了により、令和5年6月12日より新しく以下の方が選任されました。

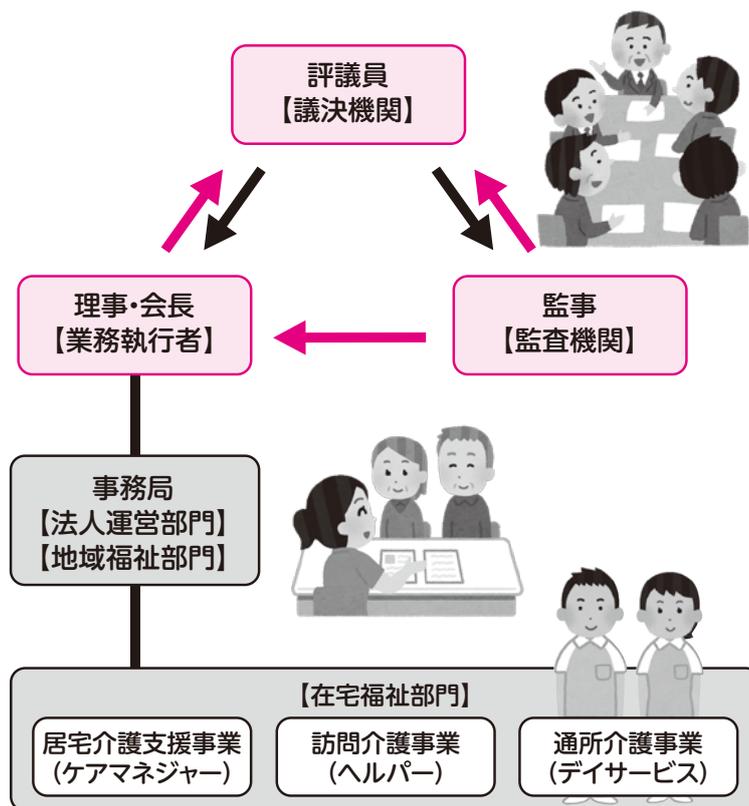
●理事(11名)

選出区分	氏名
区域における福祉に関する実情に通じている者	長谷川 実
	大森 明
区域において社会福祉事業を経営する団体の役職員	村田 貞俊
	宮崎 亮
ボランティア活動を行う団体の代表者	川橋 朝次
地縁組織(行政区・自治組織など)代表者	大森 滋
福祉関係団体	宮地 弘信
	三輪 純一
社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	安藤 巖
	宇野 千春
	丹羽 武弘

●評議員(33名)

選出区分	氏名		選出区分	氏名		
社会福祉事業や学校等のその他公益事業の経営者	伊左治 泉(※)	田中 一輝	地縁組織(自治組織など)の代表者	鈴木 豊康(※)	野田 和義(※)	
地域の福祉関係者(民生委員・児童委員)	松岡 徳雄	中西 房子		坪内 重徳(※)	鈴木 清秀(※)	
	東阪 富夫	舟橋 澄江		佐藤 克巳(※)	酒井 孝(※)	
	中野 幸子	近藤 義文		水野 邦治(※)	吉川 正行(※)	
	三輪 さち子	奥村 正義		武田 静雄	貝沼 正法(※)	
	仙田 尚雪	西村 武司		宮地 清敬(※)	栗原 登(※)	
	山崎 聖乃			井戸 雅晴	藤川 優孝	
地域の経済団体が適切なものとして推薦する者	宮川 周司	丹羽 嘉英(※)		近藤 功司(※)	瀬川 行男	
区域内において社会福祉事業を経営する団体の役職員	泉 洋一			ボランティア活動を行う団体の代表者	遠山 豊子	

(※) 令和5年5月29日の評議員選任・解任委員会において選任



●監事(2名)

選出区分	氏名
財務管理について識見を有する者	渡邊 弘和
社会福祉事業について識見を有する者	前田 和久

町内福祉関係団体のご紹介

(会員数は令和5年5月31日現在のデータ。
各団体に関するお問い合わせ・入会希望等
は、大口社協94-0060まで)

大口町母子寡婦福祉会

会員数17名

大口町母子寡婦福祉会は、母子家庭及び寡婦の福祉向上を目的とした団体で、会員相互の親睦や生活意欲の向上を図るための活動を行っています。

主な活動

- クリスマス贈物／入学祝品配布
- 交流を目的とした食事会

大口町身体障害者福祉協会

会員数40名

大口町身体障害者福祉協会は、大口町の身体障がい者の福祉向上や文化活動の支援、スポーツ活動の振興を目的として、昭和33年に創設されました。



主な活動

- 定期的なつどい
季節の行事・研修会・日帰り旅行・近隣市町の身障協会との交流など
- ふれあいサロン『忘れな草の会』
女性部が週1回開催。
手作りの手芸品を交通安全グッズとして町へ寄贈し、社会貢献に役立てています。

大口しらゆり会

会員数5名

大口しらゆり会は、こころの病をもつ人の家族会です。

毎月の定例会を通して、こころの病をもつ人の家族同士が、同じような悩みや将来について本音で語り合い、支え合う活動を行っています。



主な活動

- フリースペース『れんげそう』
ボランティアと協力し、フリースペースの運営を行っています。

大口町遺族会

会員数97名

大口町遺族会は、太平洋戦争において戦地等で亡くなられた戦没者遺族の全国組織として、昭和22年に創設されました。

主に戦没者の慰霊や遺族の福祉増進・生活相談等の事業を行っています。



主な活動

- 全国戦没者追悼式への参加
- 愛知県護国神社等の参拝
- 大口町平和祈念事業の慰霊祭等への参加
- 「平和学習会」の講師派遣
(大口中学校2年生対象)

大口町心身障害児(者)親の会

会員数29名

大口町心身障害児(者)親の会は、昭和54年に4人の親たちが「知的・身体に障がい」をもつわが子の幸せを願い、地域で生活できる仕組みの充実を求めようと、仲間の親たちに呼びかけて発足。

町内在住・町内の事業所を利用している心身障害児(者)を保護・養育している保護者で結成された会です。

健康文化センター1階の『喫茶ほほえみ』を拠点とし、心身障害児(者)の福祉増進と会員相互の親睦・連絡調整等を中心に行っているほか、近隣市町の親の会と交流を図り、研修や情報交換を行いながら、会員の資質向上に努めています。



主な活動

- 喫茶ほほえみの運営
- 定期的なつどい
季節の行事・研修会・日帰り旅行など
- 『ム～の会』
毎月第2日曜日、大口町の「親の会」と扶桑町の「父母の会」が合同で障がい者スポーツを楽しむ会を行っています。





人をつなぐ、孤立を防ぐ。地域福祉活動 ふれあいサロン通信

秋田区替地地区 ふれあいサロン

4/8



替地ふれあいサロンでは、毎年4月8日にお釈迦様の生誕を祝う「花まつり」を開催。

訪れた地域住民のみなさんは、華やかな花御堂の誕生仏に甘茶をそそぎ参拝。交流スペースでは、甘茶がふるまわれました。

河北区陽だまり

5/10



この日は、お茶を飲みながら、おしゃべりした後に、ポッチャ大会を開催。

チーム戦で勝利を目指して、大熱戦!

みなさん大盛り上がりで、ポッチャを楽しんでいました。

さつきヶ丘区 サロンさつき

5/17



健康づくりのために、「健康体操教室」を開催。

今回は、健康寿命を延ばす秘訣についてのお話を聞き、実際に健康づくりのための簡単な筋トレにチャレンジ。みなさん真剣に取り組んでいました。

青空あかりサロン

5/17



しばらくお休みをしていた「青空あかりサロン」が再開。お茶を飲みながら楽しく談笑。「やっぱり外に出て、おしゃべりすると元気になるわ〜!」と久しぶりの再開を喜び、笑顔満開のサロンでした。

地域ふれあいサロン連絡会

令和5年4月13日、地域ふれあいサロンの運営スタッフを対象とした連絡会を開催しました。

「再開して“ありがとう”と感謝された」、「うちのサロンは新しい取り組みを始めたよ」など、サロン再開後の様子や活動内容など情報交換し、スタッフのみなさんの意欲が高まる機会となりました。

今後も楽しくサロン活動を続けていただけるよう、社協は応援していきます。

うちのサロンは、いつも賑やかですよ。



人々がともに生きる

地域共生社会の実現へ



福祉実践教室

子どももお年寄りも、障がいのある人もない人も、すべての人々がお互いを尊重して地域の中でともに生きる『地域共生社会』を実現するためには、子どもの頃から生涯にわたる福祉教育が大切であると言われています。

その中でも町内小中学校で行われている福祉実践教室は、学校教育における福祉教育プログラムであり、福祉に触れるはじめての一歩として長年にわたり取り組まれています。

小学校のプログラム

50音を表す指文字を教えてもらったよ〜



手話教室

自分や家族の名前を点字で打って先生に読んでもらった!



点字教室

ちょっとした段差も目が見えないとこんなに怖いんだ...



ガイドヘルプ体験

段差を乗り越える時、ひっくり返りそうでドキドキ... ゆっくり押してね!



車いす教室

盲導犬との信頼関係が一番大事なんだね。



盲導犬教室

大きいゴミ袋2枚で災害用トイレが作れるんだ!?



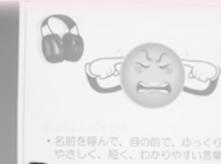
防災教室

装具やゴーグルを使って目の見えにくさや歩きにくさ、手足の動かしにくさを体験したよ〜



高齢者疑似体験

中学校のプログラム



障がいがあってもなくても、みんなちがってみんないい!



知的障がい者理解

思い通りに折れないと焦っちゃうよ〜

子どもも大人も参加できる
夏休みの福祉教育プログラム
町内福祉施設見学バスツアー
申込受付中! 詳細は16ページへ★

ちょっと、いいこと。



あなたの住む町、働く町の福祉×ボランティアについて発信します

Part 1

テーマ 視覚障がい者(目が見えない・見えにくい人)について知ってちょ!

1 見え方・見えにくさは人それぞれ

- ★全盲 まったく見えない・光の明暗だけ分かる
- ★弱視 少し見えるが、日常生活に支障をきたす



通常



ぼやけて見える



見える範囲が狭い



中心だけ見えない



白くモヤがかかる



半分しか見えない

2 身近なところに! 視覚障がい者の方を支えるツール

★点字編★



エレベーターのボタンや缶の表面などにある点字



シャンプーボトルにあるギザギザ(ユニバーサルデザイン)

触覚で伝える

必ずしも点字を読めるわけではない

視覚障がい者のうち、点字を読める・使える人は約10%といわれています。

点字は文字のひとつ。子どもの頃から点字を習っていた人もいれば、病気やケガなどで後から視覚障がいを持ち、点字を学ぶ機会がなかった人もいます。

現在はいろいろな情報伝達ツールが登場しているため、それぞれが見え方に適したツールを自分で選び、活用しながら生活しています。

私たち、大口町でボランティア活動をしています★

点訳フレンド

専用ソフトと点字プリンターを使って点訳しています～



自分の名前を点字で打ってみよう!

議会だよりや社協だよりを点訳して視覚障がい者の方へお送りしています。福祉実践教室では小学生に点字の打ち方を教えています。

基本情報

結成：平成2年
 会員数：女性5名
 年代：40代～70代
 活動日：依頼に応じて随時活動



私たちのアピールポイント
少人数ですが楽しく活動しています!

ボランティアに関する相談、随時受付中!

問合せ先 大口社協ボランティアセンター
 TEL 94-0060 FAX 94-0059
 E-mail chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp

- その他の視覚障がい者に関わるボランティア
- 音訳ボランティアたんぽぽ
 - ガイドボランティアあい♡あい



大口子育て情報 ぎゅっと

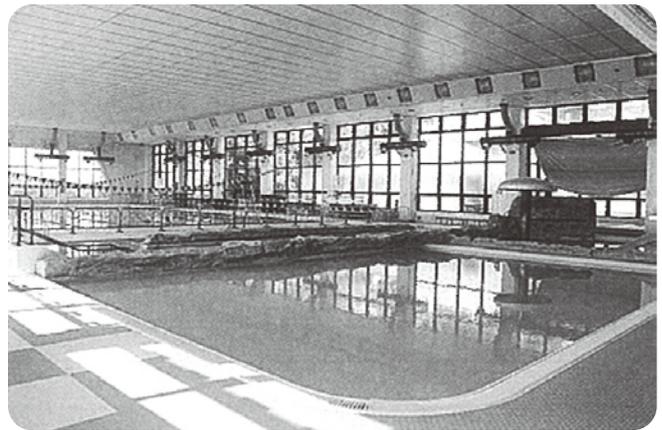
【編集】大口町NPO登録団体
「まみーぽけっと」
【HP】<http://www.geocities.jp/mammypocket2003/>

大口町には温水プールがあります。小さな町には珍しいと思います。どんどん活用しましょう!

オークマ温水プール

大口町伝右一丁目47番地
☎0587-95-1313

休業日 火曜日・年末年始
(プールの水の入れ換えなど年1回
清掃休業期間あり)
時 間 4月～9月 10:00～21:00
10月～3月 10:00～20:00
月曜日は10:00～19:00
日・祝日は9:00～19:00
(利用時間等は、新型コロナウイルスの
影響により都度変わる可能性がある
ので、事前にご確認ください)



料 金 大人310円 小・中学生100円 幼児無料(保護者同伴)
駐車場 有(約70台)
その他 ・水泳帽子必要
・トイレの意思表示ができない乳幼児はプールおむつと、
その上に水着が必要
・浮き輪等の持ち込み不可(ビート板・アームヘルパーの貸し出し有)
・アームヘルパー持ち込み可



☆☆桃缶シャーベット☆☆

暑くなってきましたね。ひんやり冷たいデザートはいかがですか?
桃缶を使った簡単でおいしく作れるおすすめレシピを紹介します。

材 料 ・桃(内容量350グラム) …… 一缶
・粉寒天 …………… 2グラム



作り方 ①桃缶を汁ごとミキサーなどにかけて、ピューレにして鍋に入れます。
②粉寒天を振り入れよく混ぜてから火にかけ、泡立て器かヘラで混ぜながら煮溶かします。
端が軽くフツフツしてきたらとろ火にして2分以上煮ます。
③熱いうちに好みの型に流します。型はシリコンがおすすめです。かわいい動物の型などがあり
ます。軽く水で全体を濡らしておくとも型離れが良い気がします。2～3時間冷凍庫でしっかり固
めて出来上がり。



「むせやすくなった」「食べ物を飲み込みにくくなった」などのお悩みを抱えていらっしゃる方は少なくないのではないのでしょうか？

お口の体操をすることで少しはお悩みが軽くなるかもしれません。そこで、お口の体操として「パタカラ体操」や「替え歌」をご紹介します。ぜひお試しください。

パタカラ体操 大きな声でパタカラを繰り返し発声しましょう。

① **パ**

口を閉じてから大きく口を開けて発声しましょう。

② **タ**

舌を上あごにつけて発声しましょう。

③ **カ**

舌の付け根をのどの奥に引くように発声しましょう。

④ **ラ**

舌尖を上にあげて発声しましょう。

パタカラ替え歌

①童謡「うさぎとかめ」のメロディでパタカラを置き換えて歌ってみましょう。

②童謡「はと」のメロディでパタカラを置き換えて歌ってみましょう。

もしもし	かめよ	かめさんよ
<u>パパパパ</u>	<u>タタタ</u>	<u>カラカラカ</u>
せかいの	うちで	おまえほど
<u>パパパパ</u>	<u>タタタ</u>	<u>カラカラカ</u>
あゆみの	のろい	ものはない
<u>カカカカ</u>	<u>ラララ</u>	<u>パタパタパ</u>
どうして	そんなに	のろいのか
<u>カカカカ</u>	<u>ララララ</u>	<u>パタパタパ</u>

ぽっぽっぽ	はとぽっぽ	
<u>パ パ パ</u>	<u>パタカラパ</u>	
まめがほしいか	そらやるぞ	
<u>パタパタカラカ</u>	<u>パタカラパ</u>	
みんなで	なかよく	たべにこい
<u>パタパタ</u>	<u>カラカラ</u>	<u>パタカラパ</u>



【問合せ先】 大口町社会福祉協議会 TEL 0587-94-0060

ボランティア情報局

夏休みボランティア出前講座

場 所	日にち	実施サークル・内容など (詳しくはサークル紹介で)
北児童センター	8月24日(木)	大口町手話サークル コスモス 簡単な手話や、ジェスチャーを使ったクイズやゲームなどをします。
西児童センター	8月19日(土)	大口町災害救援ボランティア いざという時に備えて、新聞紙やロープが役に立つことの体験をします。
	8月26日(土)	大口マジッククラブ 初の出前講座です!マジックでみなさんの心をつかみますよ～
南児童センター	7月27日(木)	高齢者疑似体験 うさぎとかめ お年寄りが日常生活でどのような不自由さを感じているのか体験します。
	8月23日(水)	大口おもちゃ図書館 さくら 「いろいろなおもちゃの遊び方を体験しよう!」みんなで楽しく遊べるおもちゃ遊びなどをします。

ボランティア出前講座の目的と参加対象は～?

★ 目的 ★

簡単で楽しい体験をとおしてボランティア活動への関心を深めてもらうこと、より多くの子どもたちへ福祉教育を推進していくことを目的としています。

★ 参加対象 ★

児童センターを利用するお子さんが参加対象です!

問合せ先

大口社協
ボランティアセンター
TEL 94-0060
FAX 94-0059

大口町手話サークルコスモス

いつもの活動

- ・小学校からの依頼に応じて、福祉実践教室の講師として活動しています。
- ・聴覚障がい者と手話を通じて情報交換し、交流しています。
- ・手話の必要性を社会に伝えていく活動もしています。



自己紹介や簡単なあいさつや歌などを手話で表現するほか、ジェスチャーでカードに描いてある絵を伝えたり、身近なものを表したりして、どれだけ人に伝えられるか体験します。





大口町災害救援ボランティア

いつもの活動

- ・はそりを使った炊き出しや、災害ボランティアセンターの立ち上げなどの訓練を行っています。
- ・防災に関する各種研修・講座(避難所運営ゲーム(HUG)、災害図上訓練(DIG))への参加や、講師活動、実施協力などで活動しています。
- ・東日本大震災復興支援ボランティア活動に参加、その後も町内で行われている被災地支援活動(支援物資の袋詰め等)に参加しています。



引っ張っても結び目が動かないが、必要となれば、水で濡れていても簡単にほどくこともできる「もやい結び」や、ケガをしたときの応急処置として三角巾の使い方を体験します。

また、新聞紙でも簡単に作れるスリッパの作成もします。



大口マジッククラブ

いつもの活動

- ・保育園等の児童施設や地域のイベントでもマジックを披露しています。
- ・普段はサークル内でマジックの技術を磨いており、みなさん数えきれないほどの持ちネタがあるそうですよ～!



どんなことをするのは「ひ・み・つ!」
楽しみにしていてください
いね～。

高齢者疑似体験うさぎとかめ

いつもの活動

- ・疑似体験用装具をつけて、お年寄りが日常生活でどのような不自由さを感じているのかを体験し、お年寄りの気持ちやコミュニケーションの取り方を学んでいます。
- ・町内小学校や尾北看護専門学校、その他依頼に応じて活動しています。



足や腕に装具をつけて、手足の不自由さを体験します。

他にも、手袋をはめたままファスナーの上げ下げ、ボタンかけ、箸での豆つかみなどをして、指先の不自由さを体験します。



大口おもちゃ図書館さくら

いつもの活動

- ・毎月第2土曜日・第3木曜日におもちゃ図書館を開催しています。
- ・おもちゃ図書館はすべての子どもたちが健やかに育つことを願い、おもちゃを介して豊かな遊びの輪を広げ、社会性を学ぶことを手助けしています。



いろいろなおもちゃの遊び方を体験します。

初めて見るおもちゃに出会えるかもしれませんよ～!ぜひお気に入りのおもちゃを見つけてください。



今年の出前講座は私たちのサークルです★

昨年は新型コロナウイルスの影響でやむなく中止となりましたが、今年には通常通り開催します!夏休みの思い出作りにも是非どうぞ。



災害救援ボランティア×民生委員児童委員協議会×社会福祉協議会

災害時炊き出し訓練を実施

5月22日、大口社協
 デイサービスセンター
 敷地内及び大口町生
 きがい活動支援セン
 ターにて、災害時の炊
 き出し訓練(防災シユ
 ミレーション)を実施し
 ました。

コロナ禍で数年ぶり
 の実施となった炊き出
 し訓練には、大口町災
 害救援ボランティアの
 皆さん、大口町民生委
 員児童委員協議会の
 高齢者部会の皆さんに
 ご協力いただき、計25
 名が参加しました。

訓練では発災から数
 週間が経過した時期
 を想定。避難所生活な
 どが長期化すると、非
 常食を中心とした食事
 はどうしても飽きてし
 まいますが、アレンジ
 を施したメニューを考
 え、温かい食事を提供
 できるように、プロパン
 ガスを用いたはそり等
 で調理を行いました。



カレーパスタに使用したのは、常温で長期保存が可能なレトルト食品や乾麺。身近で手に入るため、家庭での防災備蓄品としても活躍します！



デイサービスのご利用者様にも試食していただきました。

menu



- おにぎり
- カレーパスタ
- スープ

今回は、食品ロスを減らすための取り組みとして実施しているフードバンク事業にご寄贈いただいた食品を中心に使用させていただきました。

子育てサロンまむ*まむ

七夕イベントを開催します



- ★日時 7月4日(火) 10:00~12:00
- ★場所 大口町健康文化センター2階 おもちゃ図書館
- ★内容 本物の笹を使った短冊づくり
- ★問合せ先 社会福祉協議会
電話 94-0060 FAX 94-0060

赤ちゃん訪問

絵本・スプーンプレゼント



大口社協は、民生委員児童委員のドアノッキング事業に実施協力し、5ヶ月訪問や1歳訪問の際にお渡しする祝い品をプレゼントしています。

心配ごと相談所開設日程

(7月～9月分)

内容 月	母子・女性	女性	弁護士
7月	5日(水)	19日(水)	26日(水)
8月	2日(水)	16日(水)	23日(水)
9月	6日(水)	20日(水)	27日(水)

専門の相談員が対応し、秘密は厳守されますので、安心してご相談ください。

ご家族や福祉関係者からの相談も可能です。

■予約受付

社会福祉協議会
TEL 94-0060
FAX 94-0059



母子父子自立支援相談

(原則 第1水曜日)

経済問題、就労、進学、各種手続き等に関するひとり親家庭のお母さん、お父さんのための相談を受けています。母子父子自立支援員が対応します。

女性相談

(原則 第1・3水曜日)

家庭、離婚、人間関係、介護、子育て、DV等に関する女性が抱える心配ごとの相談を受けています。女性相談員が対応します。

高齢者・障がい者の弁護士相談

(原則 第4水曜日)

ご高齢の方、障がいをお持ちの方やそのご家族が安心して暮らしていくために、弁護士が身近な心配ごとの相談に対応します。

※弁護士相談は完全予約制です

相談時間はおおむね30分間ですので、あらかじめ相談内容をまとめてきてください。

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にありがたい寄付・寄贈が寄せられました。

厚くお礼申し上げますとともにご報告します。

順不同(3月1日～5月31日 取扱い分)

マザックボランティアクラブ 様	11,682円
秋田さわやかクラブ 様	10,000円
中小口川端交友会 様	5,254円
匿名	千羽鶴
トーシンテック株式会社 様	
飲料、インスタントラーメン、缶詰類 計65個	
匿名(大口町・犬山市の住民の方) フードドライブ食料品3件27個	

社協フードバンク・フードドライブにご寄贈いただいた食料品は、生活や食べ物にお困りの方などに対する食料支援や、地域のふれあいサロンに配布させていただきました。

ありがとうございました。



秋田さわやかクラブ 様



トーシンテック株式会社 様

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



参加者募集

町内福祉施設見学バスツアー

- 日 時 **8月9日(水)**
※9時30分集合、12時30分頃解散予定
- 集合場所 大口町健康文化センター正面玄関付近
- 行き先 下記の町内施設のとおり
- 対象者 町内在住・在勤の方
※お子さんは小学1年生以上(小学1・2年生は必ず保護者同伴でお願いします)
- 参加費 無料
- 定 員 20名
- 申込先 社会福祉協議会
電話 **94-0060** FAX **94-0059**
E-Mail chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



お子さんが福祉を知るきっかけに！

お年寄りや障がいをもつ方の生活や活動の様子を見せていただいたりするため、福祉に関わる作文やポスターなど、夏休みの課題の題材として活用できますよ！



大人の方が施設を知るきっかけに！

町内のどこに施設があり、どのようなサービスを受けられるのかご存知ですか？

将来の備えとして、大人の方にもぜひ参加していただきたいツアーです！

施設名	見学内容
(福)愛生福祉会 御桜乃里	特別養護老人ホーム デイサービス等
(福)おおぐち福祉会 ハートフル大口	障がい者生活介護 地域活動支援センター等
ゴールドエイジ株式会社 ゴールドエイジ大口	サービス付き 高齢者向け住宅等

参加者募集

ボランティア養成講座

マジック入門



- 日 時 7月20日(木)・7月27日(木)
8月3日(木)・8月10日(木)の計4日間
いずれも10時30分から12時まで
- 場 所 大口町健康文化センター4階 ふれあい2
- 対象者 マジック(手品)に興味・関心があり、今後ボランティアとして活動を希望する方
- 参加費 500円(材料費)
- 定 員 20名
- 講 師 大口マジッククラブ 代表 内田 敬 氏
- 申込先 社会福祉協議会(ボランティアセンター)
電話 **94-0060** FAX **94-0059**
E-Mail chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



児童福祉施設でマジックを披露する講師の内田氏

大口社協ボランティアセンター登録団体 **大口マジッククラブ**
保育園等の児童福祉施設や地域のイベントなど、町内・町外を問わず幅広く活動しています。多くの人に喜んでいただけるので、やり甲斐を感じます。初心者の方でも大歓迎です！